

第4章

基本計画（まちづくり編）

1 計画の体系

基本構想で示した「市民自治社会創造」、「自立創造」、「安全・安心の暮らし創造」「環境首都創造」の4つの基本戦略ごとに、まちづくりの目標となる「戦略の方向」と「目標が達成された姿」、施策にあたる「個別目標」を示します。

このうち「目標が達成された姿」は、基本構想の「行政経営の基本方針」で示した市民満足度を基調とした成果重視型の行政経営への転換を進めるため、行政側から見たサービスの提供状況ではなく、「市民がどのような生活をしているのか」、「社会がどのような状態になっているか」など、市民と行政が共にめざす本市の姿を表しています。

今回の後期基本計画では、中期基本計画同様、限られた財源の中で効率的な行財政運営をめざし、客観的な現状分析と将来見通しのもと、明確な目標を設定し、市民にわかりやすく効率的かつ実効性のある計画となるよう、財源の裏付けを持たせ、事務・事業の重点化を行い、まちづくりの進行管理ができる計画書として策定します。

そのため、市長マニフェストに示された政策を推進するための戦略を第3章の行政経営ビジョンで示すとともに、第4章では、施策を新たに追加し、各施策を達成するための主な事業について施策体系別（まちづくり編、行政経営編）に登載しています。

実施計画Ⅲ体系図（まちづくり編）

○基本戦略

○戦略の方向（政策）

○目標が達成された姿（最終成果目標）

○個別目標（施策）

1 市民自治社会創造

1-1 市民と行政が協働する「山の湊」を創る

1-1-1 市民参加や協働がしやすい環境が整っている

重点 1-1-1-1 まちづくりの協働体制を整備します

重点 1-1-1-2 情報の発信と共有を進めます

重点 1-1-1-3 市民ニーズを把握します

1-1-2 広域連携・交流が進んでいる

1-1-2-1 広域連携・交流を進めます

1-2 市民が主役の「山の湊」を創る

1-2-1 市民が主体的に地域の課題を解決しようとしている

重点 1-2-1-1 市民活動を応援します

重点 1-2-1-2 地域内分権の担い手を組織します

1-2-2 市民同士の交流や融和が進んでいる

1-2-2-1 市民交流を進めます

1-2-3 男女共同参画の意識が浸透している

1-2-3-1 男女共同参画社会をつくります

1-2-4 国際化への対応が進んでいる

1-2-4-1 多文化共生を進めます

1-2-4-2 国際交流活動を応援します

2 自立創造

2-1 地域の魅力を発信する「山の湊」を創る

2-1-1 市内に多くの人々が訪れている

重点 2-1-1-1 地域資源を活かした観光戦略を進めます

2-1-1-2 観光施設を有効に活用します

2-1-2 光ファイバネットワークを活用した情報の受発信が盛んである

重点 2-1-2-1 利用可能な情報システムの拡大を進めます

重点 2-1-2-2 光ファイバネットワークを有効に活用します

2-2 活気や賑わいを生み出す「山の湊」を創る

2-2-1 森林が適正に管理され、林業が営まれている

重点 2-2-1-1 森林の保全・整備を進めます

2-2-1-2 林業生産活動を応援します

2-2-1-3 林業基盤の整備を進めます

2-2-2 地産地消や消費者交流など、生命をつなぐ魅力ある農業が営まれている

重点 2-2-2-1 農業生産物の消費拡大を進めます

2-2-2-2 農業生産活動を応援します

2-2-2-3 農業基盤の整備を進めます

2-2-3 まちに賑わいと働く場が確保されている

2-2-3-1 魅力ある商店街づくりを応援します

重点 2-2-3-2 企業誘致を進め、雇用を確保します

2-2-3-3 がんばる中小企業を応援します

2-2-3-4 地域産業振興政策を進めます

2-3 人が集い暮らす「山の湊」を創る

2-3-1 快適に移動できる交通体系が整備されている

重点 2-3-1-1 公共交通網の整備と利用向上を進めます

2-3-1-2 道路網の整備を進めます

2-3-2 快適に暮らせるまちになっている

2-3-2-1 活気がある市街地をつくります

2-3-2-2 安全な水を届けます

2-3-2-3 下水を処理し水環境を守ります

2-3-2-4 公園、墓園の整備を進めます

重点 2-3-2-5 良質な住宅の整備を進めます

2-3-2-6 生活環境を保全します

2-3-2-7 移住・定住を進めます

2-4 地域の文化と人を育む「山の湊」を創る

2-4-1 歴史文化財が継承・活用されている

2-4-1-1 歴史文化財を継承します

2-4-1-2 歴史文化財・伝承文化等の紹介・活用を進めます

2-4-2 子どもが健やかに育っている

2-4-2-1 確かな学力と郷土愛を育む学校づくりを進めます

2-4-2-2 地域ぐるみで青少年の健全育成を進めます

2-4-3 いつでも学べる場が用意され、文化・スポーツ活動が盛んに行われている

2-4-3-1 市民文化活動を応援します

2-4-3-2 市民スポーツ活動を応援します

2-4-3-3 生涯学習活動を応援します

3 安全・安心の暮らし創造

3-1 健康に暮らせる「山の湊」を創る

3-1-1 地域の医療体制が整っている

重点 3-1-1-1 病院・診療所の体制を整えます

重点 3-1-1-2 地域医療の連携を進めます

3-1-2 みんなが健康づくりに努めている

3-1-2-1 予防医療を進めます

3-1-2-2 健康づくりを応援します

3-2 みんなで支え合う「山の湊」を創る
3-2-1 地域で子育てを応援する意識が広がっている
重点 3-2-1-1 子どもを生む環境を整えます
重点 3-2-1-2 子どもを育てる環境を整えます
重点 3-2-1-3 保育ニーズに対応する保育サービスを進めます
3-2-2 だれもが生きがいを持って社会に参加している
重点 3-2-2-1 地域内福祉・相互扶助活動を進めます
重点 3-2-2-2 高齢者の生きがい対策を進めます
重点 3-2-2-3 障害者の自立を支援します
3-3 安全に暮らせる「山の湊」を創る
3-3-1 災害に強いまちづくりができている
重点 3-3-1-1 地震・防災対策を進めます
重点 3-3-1-2 災害対策能力を強化します
重点 3-3-1-3 消防体制を強化します
3-3-2 地域ぐるみの安全対策が進んでいる
重点 3-3-2-1 防犯活動を進めます
重点 3-3-2-2 交通安全対策を進めます
重点 3-3-2-3 消費者支援活動を進めます
3-3-3 ペット動物の愛護管理対策が進んでいる
重点 3-3-3-1 犬の愛護管理対策を進めます
4 環境首都創造
4-1 環境首都「山の湊」を創る
4-1-1 環境への理解が浸透している
重点 4-1-1-1 地域の環境を学びます
重点 4-1-1-2 地域の環境を調査し紹介します
4-1-2 良好な自然環境が保全されている
重点 4-1-2-1 農村環境を保全します
重点 4-1-2-2 森林環境を保全します
重点 4-1-2-3 水辺の環境を保全します
4-1-3 地球温暖化防止に向けた循環型のライフスタイルが浸透している
重点 4-1-3-1 循環型社会への取り組みを進めます
重点 4-1-3-2 廃棄物の適正処理を進めます

2 市民満足度調査項目との関連

総合計画を定期見直しする際に実施する市民満足度調査（住民アンケート調査）における「公共サービスに対する満足度」の各質問項目は、「戦略の方向」や「目標が達成された姿」を実現するために示している「個別目標（施策）」の達成状況の度合いをはかる指標に位置づけています。

後期基本計画では、平成26年6月に実施した市民満足度調査の結果と前回の調査結果との比較や、地区・年齢・性別ごとに比較した調査結果等を詳細に分析し、施策を達成するために実施する主な事業等の計画・実施段階において反映していくことで、引き続き市民満足度の向上をめざすこととしています。

基本戦略を構成する「戦略の方向」を示します。

基本戦略 2 自立創造

2-1：地域の魅力を発信する「山の湊」を創る
 2-1-1：市内に多くの人々が訪れている

「目標が達成された姿」を示します。


自然環境や歴史、文化などの地域資源を生かした観光イベントの充実や市民ぐるみの受け入れ態勢の充実、魅力を効果的に発信するための情報戦略など、来訪者の滞在性や回遊性を高める活動が進んでおり、地域が活気にあふれている。

基本構想に掲げた重点プロジェクトを示します。

戦略の方向や目標が達成された姿を実現するための「個別目標（施策）」を示します。

重点 2-1-1-1：地域資源を活かした観光戦略を進めます

【施策の基本方針】
 農林業における体験型観光や自然環境を活かした DOS(ドゥ・アウトドア・スポーツ) の展開、豊富な自然・民俗・歴史等の文化資源のネットワーク化、案内ボランティアの育成など、地域の資源を効果的に活かし発信するための観光戦略を推進します。



「戦略の方向」や「目標が達成された姿」を創るために取り組む施策についての基本方針として、現状及び 11 年間で行う取り組みの方向性、後期基本計画の期間での取り組みなどを示します。

【施策の現状・経過】
 DOS(ドゥ・アウトドア・スポーツ) の展開や豊富な自然・民俗・歴史等の文化資源の保護育成を進めるとともに、二次交通対策や湯谷温泉施設の維持管理、滞在型観光の検討など観光客の受け入れ態勢整備を進めています。また、本市の認知度向上に向けて、DVD 作成やガイドマップの作成を行っています。その他にも、広域連携による誘客対策（誘客イベントや物産展、HP 作成など）を進めています。

1. 施策の達成状況

施策の現状、今までの経過、今後の予定や検討課題について、その取り組みなどを示します。

【1】市民満足度による実績及び目標（％）

指標の把握方法

施策達成度指標	H22 年度	H26 年度		H30 年度	測定方法
	実績	目標	実績	目標	
「にぎわいの創出と交流人口対策」の満足度	43.6	55.0	44.0	60.0	市民満足度調査


【2】成果指標による目標

施策の達成度状況を判断するための「ものさし（尺度）」

施策達成度指標①	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
市への観光入り込み客数	2,105 千人	2,261 千人	2,428 千人	2,608 千人	2,801 千人
指標①の内容	愛知県観光リクリエーション利用者統計（行・催事については、年間 1 千人以上、他の観光資源については、年間 1 万人以上を調査対象）による				

2. 施策実施上の留意点

- 観光基本計画の具体化のため、計画的に事業を推進する必要がある。
- 温泉宿泊客の減少に伴い、温泉源を維持するための温泉使用料が減少傾向にある。
- スポーツイベントは、多くのニーズに対応した種目が望ましいが、対応するスタッフや会場の確保が難しい。
- 今後の歴史文化財の保存と活用について、市民との協働を進める必要がある。



3. 主な事業名と内容、成果（活動）指標、協働指標 ※H25 年度は実績、H26 年度以降は目標

事業名	主な内容					市民協働指数
文化財保護事業	・文化財調査の実施、資料等の分類整理 ・保存活用方法の検討 ・指定文化財の保存事業 ・研究組織の立ち上げ ・民俗芸能活動の調査 ・継承団体育成のための助成金交付 ・草刈等の環境整備の実施 ・環境パトロールの実施					③ 双方対等
成果（活動）指標	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
(活動) 文化財調査数	4 件	3 件	3 件	3 件	3 件	3 件
(成果) 芸能見学者数	2,720 人	2,100 人	2,100 人	2,100 人	2,100 人	2,100 人

市民協働の度合いを示します。

施策を達成するために基本構想の期間内に行う主な事業を示します。

※市民協働指数

- 指数①：行政主体(行政の責任と主体で行う分野)
- 指数②：行政主導(行政主導のもと、市民と協力して行う分野)
- 指数③：双方対等(市民と行政が連携と協力で行う分野)
- 指数④：市民主導(市民主導のもと、行政が協力して行う分野)
- 指数⑤：市民主体(市民の責任と主体で行う分野)

※施策達成度指標、成果指標、活動指標

施策達成指標や成果指標は、地域の課題や市民ニーズが解決された状態である「成果」がどの程度達成されたかを測るための指標であり、できる限り数値として表します。一方、活動指標は、行政が投入する予算や活動の量を示しますが、「成果指標」で表すことが難しい場合に使用することとします。

今回の総合計画では、「成果」を重視した行政経営への転換をめざすこととしており、最終的な「成果」を達成するために施策や事業があり、その有効性や進捗を市民みんなが理解し、管理できる計画とするためこれらの指標を明らかにします。